



3 .

表 8 - 4 ダウン症の比率 (アメリカ、イリノイ州、出生 10 万対)  
(5000 人 ~ 1 万人の町 : 1950 . 1 . 1 ~ 1956 . 12 . 31)

出生数	フッ素濃度 (mg/L)	ダウン症患者 人数	率 (10 万対)	フッ素濃度 0~0.2 群 に対するオッズ比 (95%信頼区間)
25,248	0.0-0.2	10	39.60	1
24,364	0.3-2.6	19	77.98	1.97(0.92- 4.24)
		2 = 11.53	p < 0.001	E B M ビジランス研究所で追加したもの

上記表 8 - 4 中、脚注部分を以下のように訂正します。

表 8 - 4 ダウン症の比率 (アメリカ、イリノイ州、出生 10 万対)  
(5000 人 ~ 1 万人の町 : 1950 . 1 . 1 ~ 1956 . 12 . 31)

出生数	フッ素濃度 (mg/L)	ダウン症患者 人数	率 (10 万対)	フッ素濃度 0~0.2 群 に対するオッズ比 (95%信頼区間)
25,248	0.0-0.2	10	39.60	1
24,364	0.3-2.6	19	77.98	1.97(0.92- 4.24)
		2 = 3.12	0.05 < p < 0.1	医薬ビジランス研究所で追加したもの

なお、「E B M ビジランス研究所」は、現在、「医薬ビジランス研究所」と改称しておりますので、お知らせ申し上げます。

また、この報告書の内容のうち、がんとの関連に関する疫学調査結果のデータ (Hoover 論文データ) をより詳細に検討し直し、全体の文章量を約 4 分の 1 の長さに要約したものを、医薬品・治療研究会が発行する医師薬剤向け情報誌、「正しい治療と薬の情報」(T I P 誌) 2002 年 8/9 月合併号に掲載しました。また、さらに要約した内容を「薬のチェックは命のチェック」No 8 (10 月 20 日発売予定) に掲載しました。どちらも全文を近日中に、NPOJIP 「医薬ビジランスセンター」のホームページ <http://npojip.org> に掲載します。あわせてご覧ください。

2002 年 10 月 11 日

医薬ビジランス研究所 所長 濱 六郎